<table>
<tr><th>教科名</th><th>科目名</th><th>単位数</th><th>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</th><th>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</th></tr>
<tr><td>国語</td><td>国語総合１</td><td>3</td><td>9</td><td>8</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書：『新編国語総合』
（東京書籍）
学習書：『新編国語総合』
（ＮＨＫ出版）</td><td colspan="3">必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">近代以降の小説や評論等の現代文と、基礎事項を踏まえた簡単な古文や漢文を学習し、総合的な言語能力を養う。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。
技能・・・・・自分の考えを適切に表現する技能を修得し、その成果として、テスト資格を得たか。
知識・理解・・国語に必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>教科名</th><th>科目名</th><th>単位数</th><th>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</th><th>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</th></tr>
<tr><td>国語</td><td>国語総合２</td><td>3</td><td>9</td><td>8</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書：『新編国語総合』
（東京書籍）
学習書：『新編国語総合』
（ＮＨＫ出版）</td><td colspan="3">必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">近代以降の小説や評論等の現代文と、国語総合１で培った古典の基礎知識を更に深めた古文･漢文を学習し、総合的な言語能力を養う。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も必ず参照しながら学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。
技能・・自分の考えを適切に表現し、その成果として、テスト資格を得たか。
知識・理解・・国語に必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。</td></tr>
</table>

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
国語	現代文Ｂ－a	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書：『高等学校　改訂版 標準現代文Ｂ』 （第一学習社） 学習書：『高等学校 標準現代文Ｂ』 （ＮＨＫ出版）	選択		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「現代文Ｂ－ｂ」と同じ教科書・学習書を使用する。近代以降の小説・詩・随想を学習する。教材は高度で、作品の鑑賞を通じ読解力・表現力の養成を目指す。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・課題文に即して自分の考えを深め、意欲的にレポートに取り組んだか。 技能・・・・・自分の考えを適切に表現し、その成果として、テスト資格を得たか。 知識・理解・・近現代の文章を読むのに必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
国語	現代文Ｂ－ｂ	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『高等学校　改訂版 標準現代文Ｂ』 （第一学習社） 学習書：『高等学校 標準現代文Ｂ』 （ＮＨＫ出版）	選択		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「現代文Ｂ－ａ」と同じ教科書・学習書を使用する。近代以降の小説・俳句・短歌・評論・随想を学習する。教材は高度で、作品の鑑賞を通じ読解力・表現力の養成を目指す。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・課題文に即して自分の考えを深め、意欲的にレポートに取り組んだか。 技能・・・・自分の考えを適切に表現し、その成果として、テスト資格を得たか。 知識・理解・・近現代の文章を読むのに必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
国語	古典Ｂ－ａ	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書：『高等学校　改訂版 標準古典Ｂ』 （第一学習社） 学習書：『高等学校 標準古典Ｂ』 （ＮＨＫ出版）	選択		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「古典Ｂ－ｂ」と同じ教科書･学習書を使用する。『伊勢物語』『更級日記』『徒然草』など代表的な作品や漢文の故事・寓話を読む。 基礎事項の復習もしながら､内容を深く読み取り、古典の世界を味わう。		教科書を中心に､学習書も合わせて学習すること｡スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングに出席すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。 技能・・・・自分の考えを適切に表現し、その成果として、テスト資格を得たか。 知識・理解・・古文に必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
国語	古典Ｂ－ｂ	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『高等学校　改訂版 標準古典Ｂ』 （第一学習社） 学習書：『高等学校 標準古典Ｂ』 （ＮＨＫ出版）	選択		
科目の目標・ねらい		学習方法		
「古典Ｂ－ａ」と同じ教科書･学習書を使用する。 『平家物語』『枕草子』『方丈記』など代表的な作品、『論語』や漢詩などの漢文を読む。 基礎事項の復習もしながら､内容をより深く読み取り、古典の世界を味わう。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングに出席すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。 技能・・・・・自分の考えを適切に表現し、その成果として、テスト資格を得たか。 知識・理解・・古文に必要な基礎知識を習得し、テストに反映させているか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
地理歴史	世界史Ａ	2	6	5
開講期間	使用教材	受講条件		
前　期	教科書： 「高等学校 改訂版 世界史Ａ」 第一学習社 資料集：ダイアローグ世界史図表 第一学習社	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
近現代を中心とする世界の歴史を、広い視野で学習し、大きな流れをつかめるようにする。 世界の歴史に興味関心が持てるようにする。		教科書を中心に図表を参考にしながらレポートを作成する。レポートの難しいところや、大切なところをスクーリングで説明するので、 できるだけ多くスクーリングに出席すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度・・１～５回の面接指導（スクーリング・放送視聴）に出席しているか。 思考・判断・表現・・課題を客観的に判断し、報告課題（レポート）に取り組めているか。 技能・・・・・計画的に学習を進め、基本的な技能を身につけ、T（テスト）資格が取れているか。 知識・理解・・学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
地理歴史	日本史Ｂ	4	１２	１０
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『新選日本史 B』 （東京書籍）	選択必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
日本の歴史を前期(古代～近世)と後期(近代・現代)に分けて学習する。国内の政治の動きや流れを中心にすえながら、国際関係も取り上げていく。広い範囲の内容を細かく学習していく。		教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。スクーリングでは補助プリントを配布し、内容理解がしやすいようにしているので、できるだけ出席すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度・・１～10 回の面接指導（スクーリング・放送視聴）に出席しているか。 思考・判断・表現・・課題を客観的に判断し、報告課題（レポート）に取り組めているか。 技能・・・・計画的に学習を進め、基本的な技能を身につけ、T（テスト）資格が取れているか。 知識・理解・・学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。				

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>地理歴史</td><td>地理Ａ</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>教科書『基本地理Ａ』
（二宮書店）
地図帳『新詳高等地図』
（帝国書院）</td><td colspan="3">選択必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。</td><td colspan="3">教科書と地図帳を使い学習をすること。面接指導（スクーリング）では、報告課題（レポート）作成のヒントになる補助プリントを配布するので、できるだけ出席すること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度・・１～５回の面接指導（スクーリング・放送視聴）に出席しているか。
思考・判断・表現・・課題を客観的に判断し、報告課題（レポート）に取り組めているか。
技能・・・・計画的に学習を進め、基本的な技能を身につけ、T（テスト）資格が取れているか。
知識・理解・・学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>公民</td><td>現代社会</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>教科書『改訂版　高等学校現代社会』
（数研出版）</td><td colspan="3">選択必修（ただし協力校は必修）</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">「私たちの生きる社会(地球環境、資源･エネルギー、生命、情報)」や「青年期のあり方、日本人としての自覚等」に取り組むとともに、「現代の民主政治と政治参加の意義」、「現代の経済社会と経済活動のあり方」、「国際社会の動向と日本の役割」について考察し、共生社会への課題探求の力を養う。</td><td colspan="3">教科書を中心に学習すること。面接指導（スクーリング）では、報告課題（レポート）作成のヒントになる補助プリントも配布しているので、できるだけスクーリングには出席すること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度・・１～５回の面接指導（スクーリング・放送視聴）に出席しているか。
思考・判断・表現・・課題を客観的に判断し、報告課題（レポート）に取り組めているか。
技能・・・・計画的に学習を進め、基本的な技能を身につけ、T（テスト）資格が取れているか。
知識・理解・・学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>公民</td><td>倫理</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>前期</td><td>教科書：『倫理』東京書籍</td><td colspan="3">選択必修（協力校では開講しない）</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">人間とは何か。この究極の問いの答えを、人間は考えて続けてきた。その思想をたどりながら、21世紀に生きる私たちのあり方を考察していく。</td><td colspan="3">教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。スクーリングでは、より深い内容理解を目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度・・１～５回の面接指導（スクーリング・放送視聴）に出席しているか。
思考・判断・表現・・課題を客観的に判断し、報告課題（レポート）に取り組めているか。
技能・・・・計画的に学習を進め、基本的な技能を身につけ、T（テスト）資格が取れているか。
知識・理解・・学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>公民</td><td>政治・経済</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>教科書：
『高等学校　現代政治・経済
新訂版』　　（清水書院）</td><td colspan="3">選択必修（協力校では開講しない）</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">「動きつつある現実」を正確に粘り強く読み解くことで、現代社会のさまざまな課題を発見し、その解決を通してよりよい社会を「つくっていく」という社会人の視点を養うことにつなげる。</td><td colspan="3">教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。スクーリングでは、より深い内容理解を目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度・・１～５回の面接指導（スクーリング・放送視聴）に出席しているか。
思考・判断・表現・・課題を客観的に判断し、報告課題（レポート）に取り組めているか。
技能・・・・計画的に学習を進め、基本的な技能を身につけ、T（テスト）資格が取れているか。
知識・理解・・学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>公民</td><td>社会入門</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>前期</td><td>教科書
地図帳『新詳高等地図』
（帝国書院）</td><td colspan="3">選択。ただし、新入生は全員受講する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">高校での地歴･公民科の学習をむりなく始めるために､中学校で学習した社会科を復習することを目的にしています。あわせて、地図帳を用いて地理学習の基本を学びます。</td><td colspan="3">教科書を中心に、添付のテキストも参照しながら学習すること。スクーリングでは補助プリントも配布することがあるので、できるだけスクーリングには出席すること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度・・１～５回の面接指導（スクーリング・放送視聴）に出席しているか。
思考・判断・表現・・課題を客観的に判断し、報告課題（レポート）に取り組めているか。
技能・・・・計画的に学習を進め、基本的な技能を身につけ。T（テスト）資格が取れているか。
知識・理解・・学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>数学Ｉ－１</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>教科書：『改訂新数学Ｉ』
（東京書籍）
学習書：『改訂新数学Ｉ』
（NHK 出版）</td><td colspan="3">必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">「数と式」「方程式と不等式」について学習する。「数と式」では公式を使って展開と因数分解をできるようにし､根号を含む計算に慣れるようにする。「方程式と不等式」では大小関係を表す不等号を用いて式を満たす数の範囲を考えたり､実数の範囲で２次方程式が解けるようにする。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。
スクーリングでは補助プリントを配布することもある。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
数学的な見方や考え方……教科書を理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。
数学的な技能……テストの中で計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。
知識・理解……テストの中で数学的用語・公式の意味を理解できたことが確認できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>数学Ⅰ－２</td><td>４</td><td>１２</td><td>１０</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書：『改訂新数学Ⅰ』
（東京書籍）
学習書：『改訂新数学Ⅰ』
（NHK 出版）</td><td colspan="3">必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">「２次関数」「三角比」「集合と論証」「データの分析」について学習する。「２次関数」では２次関数のグラフの性質と２次不等式を、「三角比」では三角形の辺と角の関係を、「集合と論証」ではものの集まり、「データの分析」ではデータの整理方法やその活用をそれぞれ学ぶ。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。
スクーリングでは補助プリントを配布することもある。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
数学的な見方や考え方……教科書を理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。
数学的な技能……テストの中で計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。
知識・理解……テストの中で数学的用語・公式の意味を理解できたことが確認できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>数学Ⅱ－１</td><td>３</td><td>９</td><td>８</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書：『改訂新数学Ⅱ』
（東京書籍）
学習書：『改訂新数学Ⅱ』
（NHK 出版）</td><td colspan="3">選択
数学Ⅰを修得済みのこと</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">「図形と方程式」「方程式・式と証明」「指数関数と対数関数」について学習する。「図形と方程式」では直線や円の性質について座標を使って調べる。「方程式・式と証明」では３次以上の方程式を解く。「指数関数と対数関数」では指数・対数関数の性質を調べる。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。
スクーリングでは補助プリントを配布することもある。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
数学的な見方や考え方……教科書を理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。
数学的な技能……テストの中で計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。
知識・理解……テストの中で数学的用語・公式の意味を理解できたことが確認できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>教科名</th><th>科目名</th><th>単位数</th><th>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</th><th>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</th></tr>
<tr><td>数学</td><td>数学Ⅱ－２</td><td>3</td><td>9</td><td>8</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書：『改訂新数学Ⅱ』
（東京書籍）
学習書：『改訂新数学Ⅱ』
（NHK 出版）</td><td colspan="3">選択
数学Ⅰを修得済みのこと</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">「微分と積分」と「三角関数」について学習する。微分では変化するもの（たとえば速さ）の変化のようすを調べる。積分では今まで求めるのが難しかった、曲線で囲まれた図形の面積を求める。三角関数は「数学Ⅰ」で学んだ三角比の発展である。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。
スクーリングでは補助プリントを配布することもある。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。
数学的な見方や考え方……教科書を理解して、レポート（R）が合格しているか。
数学的な技能……テストの中で計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。
知識・理解……テストの中で数学的用語・公式の意味を理解できたことが確認できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>教科名</th><th>科目名</th><th>単位数</th><th>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</th><th>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</th></tr>
<tr><td>数学</td><td>数学入門</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>前期</td><td>学習書：『数学Ⅰ入門』
（NHK 出版）</td><td colspan="3">選択
ただし、新入生は全員受講</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">高等学校での数学の学習を円滑にすすめ、数学Ⅰ－１へつながるように中学校の数学の内容を復習する。整数・分数・正の数と負の数、式の計算方法、方程式などについて図を多用して理解できるようにする。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習することになる。
スクーリングでは補助プリントを配布することもある。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。
数学的な見方や考え方……教科書を理解して、レポート（R）が合格しているか。
数学的な技能……テストの中で計算・式変形の技能を身につけたことが確認できたか。
知識・理解……テストの中で数学的用語・公式の意味を理解できたことが確認できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>理科</td><td>科学と人間生活</td><td>2</td><td>6</td><td>１０</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書『科学と人間生活』
（啓林館）
学習書『科学と人間生活』
（NHK 出版）</td><td colspan="3">選択必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">身近な自然の事物・現象や、日常生活や社会の中で利用されている科学技術のうち、次の４点を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて学ぶ。
(1)生物と光　(2)材料とその再利用
(3)光の性質とその利用　(4)自然景観と自然災害</td><td colspan="3">教科書や学習書を中心に勉強する。
スクーリングは、レポートに沿った内容の話を、補助プリントや補助教材を使いながら実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度‥‥学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
思考・判断・表現‥‥身近な現象から教科書の内容を理解し、レポート（Ｒ）に取り組めているか。
技能‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ｒ Ｓ条件を満たし、その成果としてテスト（Ｔ）資格が取れたか。
知識・理解‥‥‥‥‥学習内容を理解し、知識を身につけて、テスト問題を解答できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>理科</td><td>物理基礎</td><td>3</td><td>9</td><td>１４</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書『改訂新編物理基礎』
（東京書籍）
学習書『改訂新編物理基礎』
（NHK 出版）</td><td colspan="3">選択必修
（協力校ではＳを実施していません）</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">運動、熱、波、電気、ｴﾈﾙｷﾞｰなどの物理現象から、その法則性を見出し、計算によって実証する。
Ｆ＝ｍａのような文字を使った数式（文字式）を使うので、不安がある人は担当者に相談する。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習する。スクーリングでは補助プリントを配布することもあるので、できるだけスクーリングにも出席する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度‥‥学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
思考・判断・表現‥‥教科書の内容を理解し、レポート（Ｒ）に取り組めているか。
技能‥‥‥‥‥‥‥‥‥レポートの計算・グラフなどの扱いを学び、テスト（Ｔ）資格が取れたか。
知識・理解‥‥‥‥‥学習内容を理解し、知識と方法を用いて、テスト問題を解答できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>理科</td><td>化学基礎</td><td>3</td><td>9</td><td>１４</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書『改訂新編化学基礎』
（東京書籍）
学習書『改訂新編化学基礎』
（NHK 出版）</td><td colspan="3">選択必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">人間生活とのかかわりの中の化学として､物質の構成や物質の変化､原子の結合について学ぶ。また、指数(１０^{23}など)や比例の考え方を用いて、量的な関係を取り扱う。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書を補助教材として学習を進める。
スクーリングは、レポートに沿った内容を中心に、補助プリントを使いながら実施する。
演示実験で、変化などを自分の目で確認する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度‥‥学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
思考・判断・表現‥‥教科書の内容を理論的に理解し、レポート（Ｒ）に取り組めているか。
技能‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ｒ Ｓ条件を満たし、その成果としてテスト（Ｔ）資格が取れたか。
知識・理解‥‥‥‥‥学習内容を理解し、知識を身につけて、テスト問題を解答できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>理科</td><td>生物基礎</td><td>3</td><td>9</td><td>１４</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書『改訂新編生物基礎』
（東京書籍）
学習書『改訂新編生物基礎』
（ＮＨＫ出版）</td><td colspan="3">選択必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">生物や生物現象について、「共通性と多様性」の概念を基礎として､生物学的に探求する能力を身につけることを目標とする。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習する。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングに出席する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度‥‥学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
思考・判断・表現‥‥教科書の内容を理論的に理解し、レポート（Ｒ）に取り組めているか。
技能‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ｒ Ｓ条件を満たし、その成果としてテスト（Ｔ）資格が取れたか。
知識・理解‥‥‥‥‥学習内容を理解し、知識を身につけて、テスト問題を解答できたか。</td></tr>
</table>

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
理科	地学基礎	3	9	１４
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『改訂地学基礎』 （東京書籍） 学習書『改訂地学基礎』 （NHK 出版）	選択必修 （協力校では実施していません）		
科目の目標・ねらい		学習方法		
例えば、何気なく転がっている石、毎日吸っている空気、踏みしめている大地などには地球や宇宙の情報がたくさんつまっている。地学基礎ではこれらの情報を用いて、地球や宇宙の現在、過去、未来を勉強する。		教科書や学習書を中心に勉強する。 スクーリングは、レポートに沿った内容の話を、補助プリントや実験道具などを使いながら実施する。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度‥‥学習内容に関心を持ち、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。 思考・判断・表現‥‥教科書の内容を理論的に理解し、レポート（Ｒ）に取り組めているか。 技能‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ｒ Ｓ条件を満たし、その成果としてテスト（Ｔ）資格が取れたか。 知識・理解‥‥‥‥‥学習内容を理解し、知識を身につけて、テスト問題を解答できたか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
保健体育	体育1	2	4	10
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『最新高等保健体育改訂版』保体 305（大修館） イラストでみる最新スポーツルール（大修館）	必修		
科目の目標･ねらい		学習方法		
･生涯を通じ、自ら進んで体力や健康状態に応じて運動に親しむ態度を養う。 ･体力の保持増進。		･レポート学習（バレーボール、バスケットボールの歴史やルール、体育理論） ･スクーリング（各種目の基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展、体育理論）		
評価方法･観点				
関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。 思考・判断・表現……教科書や補助プリントを理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。 技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。 知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
保健体育	体育２	２	４	１０
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『最新高等保健体育改訂版』保体 305（大修館） イラストでみる最新スポーツルール（大修館）	必修 体育１を修得しているか同時受講		
科目の目標・ねらい		学習方法		
・生涯を通じ、自ら進んで体力や健康状態に応じて運動に親しむ態度を養う。 ・体力の保持増進。		・レポート学習（ソフトボール、卓球の歴史やルール、体育理論） ・スクーリング（各種目の基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展、体育理論）		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。 思考・判断・表現……教科書や補助プリントを理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。 技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。 知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
保健体育	体育３	２	４	１０
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書『最新高等保健体育』保体 302（大修館） イラストでみる最新スポーツルール（大修館）	必修 体育２を修得しているか同時受講		
科目の目標・ねらい		学習方法		
・生涯を通じ、自ら進んで体力や健康状態に応じて運動に親しむ態度を養う。 ・体力の保持増進。		・レポート学習（テニス、サッカーの歴史やルール、体育理論） ・スクーリング（各種目の基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展、体育理論）		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。 思考・判断・表現……教科書や補助プリントを理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。 技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。 知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。				

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>保健体育</td><td>体育４</td><td>1</td><td>2</td><td>5</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>前期</td><td>教科書『最新高等保健体育』
保体 302（大修館）
イラストでみる最新スポーツルール（大修館）</td><td colspan="3">必修
体育３を修得しているか同時受講</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">・生涯を通じ、自ら進んで体力や健康状態に応じて運動に親しむ態度を養う。
・体力の保持増進。</td><td colspan="3">・レポート学習（バドミントンの歴史やルール、体育理論）
・スクーリング（各種目の基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展、体育理論）</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
思考・判断・表現……教科書や補助プリントを理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。
技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。
知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>保健体育</td><td>スポーツＡ</td><td>1</td><td>2</td><td>5</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>補助プリント</td><td colspan="3">選択科目
体育７単位を修得しているか、卒業時同時受講。</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">・健康のために、スポーツを生活の一部として位置づけできるような能力や態度を養い、そのために必要な知識を修得する。
・体力の保持増進。</td><td colspan="3">・レポート学習（ニュースポーツや、レクレーショナルスポーツの歴史や意義、実践方法について）
・スクーリング（各種ニュースポーツの基本的な技術の修得、修得した技術を生かしたゲーム等への発展）
・実技重視（理論は行わない）</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
思考・判断・表現……教科書や補助プリントを理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。
技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。
知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。</td></tr>
</table>

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
保健体育	保健１	1	3	3
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書『最新高等保健体育改訂版』保体 305（大修館）	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
・健康や安全に関する知識を身につけ、健康で安全な生活を営む態度を養う。		レポート学習（現代社会と健康） スクーリング（現代社会と健康）		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。 思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。 技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。 知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
保健体育	保健２	1	3	3
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教科書『最新高等保健体育』保体 305（大修館）	必修 保健１を修得しているか、卒業時同時受講。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
健康や安全に関する知識を身につけ、健康で安全な生活を営む態度を養う。		レポート学習（生涯を通じる健康、社会生活と健康） スクーリング（生涯を通じる健康、社会生活と健康）		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。 思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。 技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。 知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。				

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>芸術</td><td>音楽Ⅰ</td><td>2</td><td>6</td><td>8</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書『音楽Ⅰ改訂版 Tutti』
（教育出版）
学習書『音楽Ⅰ改訂版 Tutti』
（ＮＨＫ出版）</td><td colspan="3">選択必修（本校のみ開講）</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">音楽を楽しむことをモットーにして、楽譜の読み方や歌を中心に学習する。スクーリングでの音楽鑑賞も重要です。</td><td colspan="3">スクーリングを中心に学習を進める。
教科書を中心に、学習書も合わせて学習する。
分からぬ点はすぐ質問に来ること。早めに来るほどレポートがやりやすくなる。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……学習を進めるため、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。
技能……計画的に学習を進め、その成果としてテスト資格が取れたか。
知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>芸術</td><td>書道Ⅰ</td><td>2</td><td>6</td><td>8</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書『新編　書道Ⅰ』
（教育出版）</td><td colspan="3">選択必修（ただし協力校は必修）</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">筆の持ち方や、楷書・行書の書き方など、書道の基本を学ぶ。
詩歌など「漢字仮名交じりの書」を工夫して書く。</td><td colspan="3">スクーリングでは、毎回実技をする。
教科書をもとにして、レポートを完成させる。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……計画的に、積極的にスクーリング（Ｓ）に出席しているか。
思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート（Ｒ）が合格しているか。
技能……基本的な技能を身につけ、その成果としてテスト資格が取れたか。
知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>芸術</td><td>書道Ⅱ</td><td>2</td><td>6</td><td>8</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書『書道Ⅱ』
（東京書籍）</td><td colspan="3">選択
書道Ⅰを修得済みのこと</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">書道Ⅰの学習を生かし、楷書・行書・隷書・篆書について学ぶ。
「少字数の漢字」「漢字仮名交じりの書」を工夫して書く。</td><td colspan="3">スクーリングでは、毎回実技をする。
教科書をもとにして、レポートを完成させる。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……計画的に、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。
思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート（R）が合格しているか。
技能……基本的な技能を身につけ、その成果としてテスト資格が取れたか。
知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>芸術</td><td>硬筆</td><td>2</td><td>6</td><td>8</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>自主教材：『硬筆テキスト』</td><td colspan="3">選択
本校２年次を対象に、日面と木面で開講する。
再受講は不可</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">筆順、へん・つくりなどの名称、漢字の結構法や明朝体と楷書の違いを学ぶ。
行書や仮名の書き方、横書きの書き方、はがき・封書の書き方など実用的な書式を学ぶ。</td><td colspan="3">スクーリングでは、毎回実技をする。
硬筆テキストをもとにして、レポートを完成させる。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度……計画的に、積極的にスクーリング（S）に出席しているか。
思考・判断・表現……教科書や学習書を理解して、レポート（R）が合格しているか。
技能……基本的な技能を身につけ、その成果としてテスト資格が取れたか。
知識・理解……学習した内容をもとにテストを受け、基準点以上をとることができたか。</td></tr>
</table>

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
外国語	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ－１	2	6	9
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『All Aboard! English Communication Ⅰ』（東京書籍） 学習書:『All Aboard! English Communication Ⅰ』（NHK 出版）	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
外国語の学習を通して、文化なども理解しながら、言語やその運用の実践能力を身につける。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも参加すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度・・毎時間学習内容を自分で計画し、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・自己の課題を客観的に判断し、レポート(報告課題)に取り組めているか。 技能・・・・・・・・計画通り学習を進めて、基本的な技能を身につけその成果としての Ｔ（テスト）資格が取れているか。 知識・理解・・・・・学習した内容を正しく使いテスト問題を解答することができるか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
外国語	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅰ－２	3	9	１４
開講期間	使用教材	受講条件		
通年	教科書：『All Aboard! English Communication Ⅰ』（東京書籍） 学習書:『All Aboard! English Communication Ⅰ』（NHK 出版）	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
外国語の学習を通して、文化なども理解しながら、言語やその運用の実践能力を身につける。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも参加すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度・・毎時間学習内容を自分で計画し、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・自己の課題を客観的に判断し、レポート(報告課題)に取り組めているか。 技能・・・・・・・・計画通り学習を進めて、基本的な技能を身につけその成果としての Ｔ（テスト）資格が取れているか。 知識・理解・・・・・学習した内容を正しく使いテスト問題を解答することができるか。				

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ</td><td>3</td><td>9</td><td>１４</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書:『All Aboard! English Communication Ⅱ』（東京書籍）
学習書:『All Aboard! English Communication Ⅱ』（NHK 出版）</td><td colspan="3">選択
コミュニケーション英語Ⅰ（3 単位）を修得していること</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">コミュニケーション英語Ⅰの学習を基にして、やや複雑な英文を理解し、表現しうる能力を養う。文法に関しても、これまで学んできたことを基にして、やや複雑な分野も学ぶ。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも参加すること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度・・毎時間学習内容を自分で計画し、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現・・自己の課題を客観的に判断し、レポート(報告課題)に取り組めているか。
技能・・・・・・・・計画通り学習を進めて、基本的な技能を身につけその成果としての
Ｔ（テスト）資格が取れているか。
知識・理解・・・・・学習した内容を正しく使いテスト問題を解答することができるか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>英語表現Ⅰ</td><td>2</td><td>6</td><td>１０</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書『NEW FAVORITE』
English Expression I (東京書籍)
学習書『NEW FAVORITE』
English Expression I (NHK 出版)</td><td colspan="3">選択
コミュニケーション英語Ⅰ（3 単位）を修得していること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">今まで学んできた基本を踏まえて、日常生活の色々な場面で使われる表現を学ぶ。会話やＥメール、スピーチ等の様々な表現方法を身につけることを目指す。</td><td colspan="3">教科書・学習書を中心に、学習すること。スクーリングプリントを配布するので、できるだけスクーリングにも参加すること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度･･･英語で表現することに関心を持って授業(スクーリング)に取り組めているか。
思考・判断・表現･･･適切な英語の表現を使って、レポート(報告課題)に取り組めているか。
技能･･･英語で表現するのに必要な基本的文型や文法事項を理解し、その成果として T(テスト)資格が得られるか。
知識・理解･･･スクーリングやレポートで学習した内容を使って、テスト問題を解答できるか。</td></tr>
</table>

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
外国語	英語入門	2	6	9
開講期間	使用教材	受講条件		
前期	教材『英語入門』 （NHK 出版）	選択。ただし、新入生は全員受講。		
科目の目標・ねらい		学習方法		
基本のアルファベットから始め､英語の基本を一通り学ぶ。		教科書を中心に学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度・・課題意識を持って積極的に、授業（スクーリング）に参加しているか。 思考・判断・表現・・自分の考えを深め、意欲的に報告課題（レポート）に取り組んだか。 技能・・計画通り学習を進めて、基本的な技能を身につけその成果としてのＴ（テスト）資格が取れているか。 知識・理解・・英語に必要な基礎知識を習得し、テスト問題を解答することができるか。				

教科名	科目名	単位数	R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数	S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数
家庭	家庭総合 a	2	6	6
開講期間	使用教材	受講条件		
後期	教科書：『家庭総合』 （東京書籍） 学習書：『家庭総合』 （NHK 出版）	必修		
科目の目標・ねらい		学習方法		
人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉､消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ､家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに､生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。		教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。		
評価方法・観点				
関心・意欲・態度･･･家庭や地域の生活に関心をもち、意欲的に授業（スクーリング）に出席できているか。 思考・判断・表現と技能･･･家庭や地域の生活を充実向上するための課題解決を目指して、報告課題（レポート）に取り組めているか。 知識・理解･････････学んだ知識を総合的に身に付けてテスト問題を解答できているか。				

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>家庭</td><td>家庭総合ｂ</td><td>2</td><td>6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>前期</td><td>教科書：『家庭総合』
（東京書籍）
学習書：『家庭総合』
（NHK 出版）</td><td colspan="3">必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</td><td colspan="3">教科書を中心に、学習書も合わせて学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布するので、できるだけスクーリングにも出席すること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度･･･家庭や地域の生活に関心をもち、意欲的に授業（スクーリング）に出席できているか。
思考・判断・表現と技能･･･家庭や地域の生活を充実向上するための課題解決を目指して、報告課題（レポート）に取り組めているか。
知識・理解･････････学んだ知識を総合的に身に付けてテスト問題を解答できているか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>家庭</td><td>子どもの発達と保育</td><td>2</td><td>6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>前期</td><td>教科書:『子どもの発達と保育新訂版』
（実教出版）</td><td colspan="3">選択
家庭科の必修科目を修得済みのこと
卒業予定年度に限り家庭総合との同時受講可</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。</td><td colspan="3">教科書を中心に学習すること。スクーリングでは補助プリントを配布したり、実習なども取り入れるので、できるだけスクーリングにも出席すること。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度･･･子どもの発達や保育に関心をもち、意欲的に授業（スクーリング）に出席できているか。
思考・判断・表現と技能･･･子どもの発達や保育に関する課題解決を目指して、報告課題（レポート）に取り組めているか。
知識・理解･････････学んだ知識を総合的に身に付けてテスト問題を解答できているか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>教科名</th><th>科目名</th><th>単位数</th><th>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</th><th>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</th></tr>
<tr><td>情報</td><td>情報の科学</td><td>2</td><td>6</td><td>6
（実習１回は希望者のみ）</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書：『情報の科学』
（東京書籍）</td><td colspan="3">必修</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">「コンピュータの仕組みと働き」「問題解決とコンピュータの活用」「情報社会の科学的な理解」などの情報社会の課題や情報について学んでいく。</td><td colspan="3">教科書を中心に学習すること。スクーリングでは補助プリントも配布することがあるので、できるだけスクーリングには出席すること。また、実習を１回のみ実施しますが、希望者のみ受講してください。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度 …… 自分で計画的に、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現 …… 課題を客観的に判断し、レポート（報告課題）に取り組めているか。
技能 …… 計画的に学習を進め、基本的な技能を身につけ、T（テスト）資格が取れているか。
知識・理解 …… 学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>教科名</th><th>科目名</th><th>単位数</th><th>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</th><th>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</th></tr>
<tr><td>商業</td><td>ビジネス基礎</td><td>3</td><td>9</td><td>8</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書：『ビジネス基礎』
新訂版
（実教出版）</td><td colspan="3">選択（前籍校等で２単位以上修得者は受講不可）</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会はそれぞれ異なった仕事をする多くの人々で成り立ち、無数の取引関係を通じてかかわりあいながら変化し続けています。このように複雑で多様なビジネス社会を見る目や大きく変化し続ける社会の将来を見通す力を身につけるなど、自分に適した職業選択やこれからの人生設計に役立つ知識を学ぶ科目です。</td><td colspan="3">教科書を中心に学習すること。
スクーリングでは、補助プリントを毎回配布するので、できるだけ出席すること。また、新聞やテレビ・インターネットなどのメディアからの情報収集も心がけると、よりいっそう効果的な学習ができる。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度･･･自分で計画的に、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現･･･課題を客観的に判断し、レポート（報告課題）に取り組めているか。
技能･････････････適切な情報の収集・活用能力を身につけ、計画的に学習を進め、T（テスト）資格が取れたか。
知識・理解･････････学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>商業</td><td>経済活動と法</td><td>3</td><td>9</td><td>8</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>通年</td><td>教科書：『経済活動と法』
新訂版
(実教出版)</td><td colspan="3">選択（前籍校等で２単位以上修得者は受講不可）</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">ビジネスに必要な法規に関する基礎的･基本的知識を習得する。
経済社会における法の意義や役割について理解し、経済事象を法律的に考え、判断する能力と態度を身につける。</td><td colspan="3">教科書を中心に学習する。
レポートの難しいところや、大切なところをスクーリングで説明するので、できるだけ多くスクーリングに出席する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度･･･自分で計画的に、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現･･･課題を客観的に判断し、レポート（報告課題）に取り組めているか。
技能･････････････適切な情報の収集・活用能力を身につけ、計画的に学習を進め、Ｔ（テスト）資格が取れたか。
知識・理解･････････学習した内容を正しく理解しテスト問題を解答できるか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>教科名</td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>心理学</td><td>自分さがしの心理学</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>心理学
（弘文堂）</td><td colspan="3">選択
本校２年次生に限る。再受講は不可。</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">一般教諭としての心理学を学び､それを基にして「考える」体験へと導く入門書。</td><td colspan="3">テキストを参照しながらレポートを作成し、
スクーリングで理解を深める。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度･･･自分で計画的に、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現･･･課題を客観的に判断し、レポート（報告課題）に取り組めているか。
技能･････････････適切な情報の収集・活用能力を身につけ、計画的に学習を進め、レポートの最終締め切りまでにすべて出し終えたか。
知識・理解･････････学習した内容を正しく理解しレポートを合格できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>総合的な探究の時間</td><td>総合探究１</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>前期</td><td>レポート
補助プリント</td><td colspan="3">必修
『総合的な探究（学習）の時間』の修得単位が０</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">本校の通信制課程のスクーリング、レポート、テストに向けてどのように計画して学習するか､その方法を学ぶ。</td><td colspan="3">学習のしおり・年間学習計画書・補助プリントなどを参考にしてレポートを完成する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度･･･自分で計画的に、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現･･･課題を客観的に判断し、レポート（報告課題）に取り組めているか。
技能･････････････適切な情報の収集・活用能力を身につけ、計画的に学習を進め、レポートの最終締め切りまでにすべて出し終えたか。
知識・理解･････････学習した内容を正しく理解しレポートを合格できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>総合的な探究の時間</td><td>総合探究２</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>レポート
ＤＶＤ（スクーリング時）</td><td colspan="3">必修
『総合的な探究（学習）の時間』の修得単位が１</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">福祉 : 高齢者の健康や、ボランティア活動について学習し、今後の取り組みについて考える。
健康 : 喫煙が健康に及ぼす害について学習し、健康管理について考える。</td><td colspan="3">ＤＶＤ・本・雑誌・新聞・補助プリントなどを参考にしてレポートを完成する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度･･･自分で計画的に、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現･･･課題を客観的に判断し、レポート（報告課題）に取り組めているか。
技能･････････････適切な情報の収集・活用能力を身につけ、計画的に学習を進め、レポートの最終締め切りまでにすべて出し終えたか。
知識・理解･････････学習した内容を正しく理解しレポートを合格できたか。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>科目名</td><td>単位数</td><td>R(ﾚﾎﾟｰﾄ)回数</td><td>S(ｽｸｰﾘﾝｸﾞ)回数</td></tr>
<tr><td>総合的な探究の時間</td><td>総合探究３</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>開講期間</td><td>使用教材</td><td colspan="3">受講条件</td></tr>
<tr><td>前期</td><td>レポート
ＤＶＤ（スクーリング時）</td><td colspan="3">必修
『総合的な探究（学習）の時間』の修得単位が２</td></tr>
<tr><td colspan="2">科目の目標・ねらい</td><td colspan="3">学習方法</td></tr>
<tr><td colspan="2">環境と防災について学習する。
環境:人間生活によって発生する様々な環境問題の原因とそれを解決する方法を考える。
防災 : 近年多発する自然災害から、自分や周りの人の命を守るにはどうすればよいのかを知る。</td><td colspan="3">ＤＶＤ・本・雑誌・新聞・補助プリントなどを参考にしてレポートを完成する。</td></tr>
<tr><td colspan="5">評価方法・観点</td></tr>
<tr><td colspan="5">関心・意欲・態度･･･自分で計画的に、授業（スクーリング）に参加しているか。
思考・判断・表現･･･課題を客観的に判断し、レポート（報告課題）に取り組めているか。
技能･････････････適切な情報の収集・活用能力を身につけ、計画的に学習を進め、レポートの最終締め切りまでにすべて出し終えたか。
知識・理解･････････学習した内容を正しく理解しレポートを合格できたか。</td></tr>
</table>